

さて、
医学界において吉田富三博士は
一九六四年(昭和三九)
日本医師会会長選挙に
立候補しました

この選挙は
当時のマスコミを
大変賑にぎわせました

それは
負けるとわかっていた
選挙でありました

私は勝敗など
どうでもいいのです
選挙を通して
今の日本の医療いりようの
混乱こんらんと悲劇ひげき、
これらの医療問題いりようもんだいを
今後どうすべきなのか
医師と国民に
訴えたかった
のです!!

その選挙は
敗北を
喫くしましたが……